カンボジア旅行について 5

髙橋　亮

皆さまこんにちは。今回も宜しくお願いします。

地雷博物館を後にした私達は、そのままホテルに戻りました。

そして、翌日、いよいよ私達は、アンコール・トムや、アンコール・ワットという、カンボジアならではの観光スポットを巡ることになりました。

その間、萩森先生は、アンコール・トムで絵を描きたかったそうで、私は新しいガイドさんと、二人で遺跡を巡ることになりました。

正直に言うと、異国で現地の方と二人で行動することは、少し不安でしたがガイドさんはとても人懐っこい方で、お話しもとてもわかりやすい、良い人でしたので、あまりトラブルにもならず、ほっとしました。

アンコール・トムや、アンコール・ワットの説明は、ガイドブックに詳しく書かれているので、詳述は控えさせていただきますが、日本でも有名なシヴァ神をはじめとする、神々がなんとなく高貴でありながら、憎めない性格なのは人間とよく似ていると思いました。なかでも、ナーガという、蛇の神様は、カンボジアのお札にもなっていて、カンボジアの人々の信仰心のあつさを感じさせます。

ガイドさんには、私が何度も同じ質問をして悪かったな、と振り返りましたが、嫌な顔ひとつしないところが、凄いな、と感心しました。では、また…。